

栃木県北部支部新人テニス大会 男女、単複、完全制覇!

夏休み中、毎日、真っ黒に日焼けしながら、県外遠征や合宿でパワーアップした高校テニス部は、いよいよ始まる秋の新人戦の第1歩、「栃木県高体連 北部支部新人テニス大会」に臨みました。この「新人戦」は、今回の「北部支部大会」を皮切りに、勝ち抜くと、「栃木県大会」、さらに「関東選抜大会」、「全国選抜大会」へとつながっていく重要な大会です。勝ち抜いていくのは、たいへん厳しい戦いですが、なんとか“夢”である「全国大会に出場しよう!」と部員一同頑張っています。

「北部支部大会」は、8月21・22日、那須野ヶ原公園テニスコートで開催されました。北部地区の高校1・2年生、男子約100名、女子約40名がエントリーし、県大会への出場枠（男子はシングルス・ダブルスともに7枠、女子はシングルス5人、ダブルス6組）をつかむため、2日間にわたって熱戦が繰り広げられました。



初日に行われた男子ダブルスでは、前回大会に続き、大嶋祥史・友寄智開組が、烏山高校ペアに勝利し、連続優勝を果たしました。また、島袋大悟・望月智弘組も、接戦をものにし、上位7組に入り、初の県大会への出場権をつかみました。

2日目の男子シングルスでは、大嶋祥史、友寄智開が準決勝を勝ち上がり、決勝は、幸福の科学学園の同土打ちとなり、それを制した大嶋祥史が前回大会に続く連続優勝を果たしました。

女子ダブルスでは、春の県大会でベスト8に入っている瀬古真理愛・嶋田愛組、浅田愛美・山本美遥組は、ストレートインで県大会出場が決まっていますが、それに加えて扇来夢・石倉茜組が予選を勝ち上がり、決勝トーナメントでも3位に入り、県大会出場を決めました。決勝トーナメントは、瀬古真理愛・嶋田愛組が優勝、浅田愛美・山本美遥組が準優勝となりました。



女子シングルスでは、やはり春の県大会でベスト16に入っている瀬古真理愛、嶋田愛の2名は、ストレートインで県大会出場が決まっていますが、それに加えて浅田愛美、扇来夢、山本美遥が予選を勝ち上がり、県大会出場を決めました。決勝トーナメントは、嶋田愛が優勝、瀬古真理愛が準優勝、浅田愛美が第3位となりました。

県大会は、男女とも、ダブルスが9月20日（土）に県総合運動公園、シングルスは9月23日（祝）に男子は佐野市運動公園、女子は宇都宮市清原中央公園で行われます。また、関東大会への出場権（栃木県代表は上位2校）をかけた団体戦（7名で1チーム＝シングルス3＋ダブルス2）は、10月27日（月）・11月1日（土）に男子は県総合運動公園、女子は宇都宮市屋板運動場で行われます。